



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省 富山労働局
Ministry of Health, Labour and Welfare

Press Release

富山労働局発表
令和5年12月1日

富山労働局 労働基準部 健康安全課
健康安全課長 浅野 浩幸
健康安全主任 名古屋 岳秀
TEL 076 (432) 2731

報道関係者 各位

「令和5年度冬季無災害運動」（12月1日～2月29日）
を実施します！

富山労働局（局長 吉岡 勝利）では、冬季に発生しやすい北信越特有の労働災害を防止するため、新潟労働局、石川労働局、福井労働局、長野労働局と共同し啓発ポスターと富山労働局版のリーフレットを作成し、労働災害防止団体や関係団体等に配布する等により「冬季無災害運動」を実施しています。

本年も、

令和5年12月1日から令和6年2月29日までの間

別添1の「令和5年度冬季無災害運動実施要綱」に基づき、労働災害の防止に向けた運動を展開します。

また、富山労働局では、「冬季（12月～翌年2月以下同じ。）における労働災害の発生概況」について、別添2のとおり取りまとめましたので公表します。

【冬季における労働災害の発生概況のポイント】

- (1) 令和4年冬季における労働災害による死傷者数（休業4日以上（死亡者含む）以下同じ。）は、248人（うち新型コロナウイルス感染症によるもの除く）となり前年に比べ20%の減少となった。
- (2) 業種別にみると、製造業が最も多く、次いで商業、運輸交通業などが多くなっている。
- (3) 事故の型別でみると、転倒が最も多く、全災害の39%を占めている。
- (4) 転倒災害の発生月をみると、最も発生している月は1月で、次いで2月、12月の順で多くなっている。
- (5) 転倒災害は、その年の平均最低気温が下がると増加する傾向がみられる。
- (6) 転倒災害が最も発生している業種は商業、次いで製造業、保健衛生業の順で多くなっている。
- (7) 転倒災害が発生している時間帯をみると、午前8時台が最も多く、午前7時台から午前9時台の時間帯に多発する傾向がみられる。
- (8) 転倒災害の被災者を年代別でみると、60歳以上が最も多く、次いで50～59歳が多くなっており、50歳以上の被災者が全数の7割超を占めている。

添付資料

- 別添 1 「令和 5 年度冬季無災害運動実施要綱」
- 別添 2 「冬季における労働災害の発生概況」
- 別添 3 「冬季無災害運動」リーフレット